



介護サービス向上を実現する 独自の情報システムを提供

企業eye

カナミックネットワーク

<http://www.kanamic.net>

平洋子社長のプロフィール

出身地／大阪府

最終学歴／大阪教育大学大学院

趣味／エレクトーン、スキューバダイビング

尊敬する人物／梅棹忠夫

これからの高齢化社会では、多職種連携をはじめとした情報共有が不可欠である。介護・医療分野に特化するカナミックネットワークの「地域連携型介護システム」は、介護サービスの向上にこだわった独自の取り組みが特徴だ。

—— 高齢化社会の現状は。

平 日本は長い間、世界最高レベルの平均寿命による長寿社会を維持しています。しかし、このような長所も世界に例のない高齢化社会と財政難によって立ちかなくなってきました。今後は在宅医療・看護・介護の連携がこれまで以上に重要性を増し、それを実現するためにはプラットフォームとしての情報基盤が欠かせません。

—— 「地域連携型介護システム」とは。

平 労働集約型である医療・看護・介護の現場で、事務作業や情報共有を極力効率化するために開発したシステムです。PCやiPadなどの端末で入力した利用者情報を共有データベースによって管理し、安全かつ効

率的にデータを集計・活用することができ、独自の仕組みで、既に特許も取得しました。

当社は、介護保険制度発足の2000年よりASP方式によるシステムを提供。導入実績は約3700事業所に及び、中でも130以上の自治体・地域包括支援センターで採用されているのが注目されています。これは情報サービス提供当初から、介護サービスの業務支援だけにとどまらず、地域連携に主眼を置いたシステムの開発に尽力してきた成果です。

—— 東京大学の高齢社会を研究するプロジェクトに参画されていますね。

平 高齢化が進む千葉県柏市をモデル地域に「健康長寿都市」の実現に向けた取り組みが行われています。その一環として、自治体・医療・介護の多職種間で情報を共有して連携する地域包括ケアを実現するために当社のシステムが採用されました。

この柏モデルでは、当社のシ

ステムを通して病院・診療所、歯科医師、薬局、訪問看護師、地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護サービス事業所など、まち全体で情報共有を図り、チームレスなサービスを可能にします。

—— 今後の事業展開は。

平 当社システムの導入効果については、第46回IT戦略本部にて総務省からも報告されており、高い経済効果と介護サービスの質の向上が認められています。

いつまでも元気で長生きし、病院や施設ではなく住み慣れた我が家で過ごすことのできる社会を、ICT(情報通信技術)によって支えるのが当社の使命です。今後も、さらなる機能の進化にチャレンジしながら、より良い高齢化社会の実現に貢献して参ります。